

Edulution

令和4年度千葉県教育庁教育振興部
学習指導課ICT教育推進室発行
GIGAスクール通信 vol.6 (R4. 8. 3)

教育 (Education) × 進化 (Evolution) の造語
「ICT」を効果的に活用することで、
教育の次なるステップを目指しましょう。

【各校の取組】 茂原市立富士見中学校に訪問しました。

今回訪問した茂原市立富士見中学校では、一斉学習の他、個別学習や協働学習でもICTを効果的に活用して学習活動を行っていました。特に協働学習の場面では、対話的な学習が行われ、生徒同士の意見交換が活発化していました。学習の様子を紹介します。

3年（社会科）

少子化をテーマに問題解決に向けた取組を考える学習で、端末の意見共有ソフトを使い、グループ内の意見を協働作業で整理しました。

生徒個人の端末や大型提示装置に瞬時に友達の意見が反映され、多様な考え方に触れることで、意見交換が活発化していました。

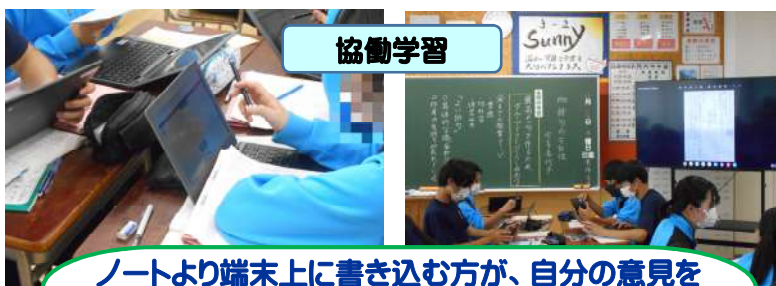


ICTを活用すればリアルタイムで友達と意見を共有することができます！

3年（国語科）

生徒同士が助言し合ってより良い俳句を作る学習でした。端末の意見共有ソフトを使い、グループ内で俳句を共有して互いに添削しました。

「書いたり、消したり」が自在に行えるので、どの生徒も進んで書き込むことができました。



ノートより端末上に書き込む方が、自分の意見を表現しやすいという声もあります！

1年（数学科）

教師用端末から生徒へ課題が一斉配信され、マグネットの個数の変化を、文字の式で表す学習でした。

生徒は、色分けして書き込みをする等、工夫して式を考えていました。教師用端末画面には、各生徒の端末画面が全て集約され、個別の進捗状況を瞬時に把握していました。



ICTを活用することで、児童生徒の学習の進捗状況を瞬時に把握できます！

活用の幅は無量大！

タブレットPCを使っでの授業が、令和3年度から始まりました。「まずは使ってみよう。」とドリル学習、オンライン授業、課題の配信・収集・評価、協働しての課題解決、デジタル教科書の活用等できそうなことから取り組みました。今年度は「効果的な活用」へと幅を広げ、取り組んでいます。活用の幅は無量大です。今後は、タブレットPCを学習のための一つの道具として活用し、対話を生みながらの協働的な学びへと活用の幅を広げ、主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善につなげていきたいと考えています。



茂原市立富士見中学校
細田 稔 校長